

學
教
授
書

T1A
1
Mo 24

文部省編輯

小學教授書

明治七年十月

小學教授書

五十音の圖

ア	カ	サ
イ	キ	シ
ウ	ク	ス
エ	ケ	セ
オ	コ	ソ

マ	ハ	ナ	タ
三	ヒ	ニ	チ
ム	フ	ヌ	ツ
メ	ヘ	ネ	テ
モ	ホ	ノ	ト

ン	ワ	ラ	ヤ
	ヰ	リ	レ
	于	ル	ユ
	エ	レ	イ
	ノ	ロ	コ

濁音の圖

ガ	ダ	ザ
ギ	ヂ	ジ
グ	ツ	ズ
ゲ	デ	ゼ
ゴ	ド	ゾ

半濁音の圖

バ
ビ
ブ
ベ
ボ

パ
ピ
プ
ペ
ポ

右の、文字の體を、片假名と云ふ、此外、一體あり、これを、草體と云ひ、又平假名と云ふ、

草體五十音の圖

あ

あ

い

う

え

お

お

か

か

き

き

く

く

け

け

こ

こ

さ

さ

し

し

す

す

せ

せ

そ

そ

た

た

ち

ち

つ

つ

て

て

と

と

な

な

に

に

ぬ

ね

ね

の

の

は

は

ひ

ひ

ふ

ふ

へ

へ

ほ

ほ

ま

ま

み

み

む

む

め

め

も

も

数字の画

十	五	〇
百	六	一
千	七	二
万	八	三
億	九	四

ん	わ ^ゐ	ら	や ^ゑ
	わ	り ^ゐ	以 ^ゝ
	亨	る ^ゐ	ゆ ^ゝ
	無	れ ^ゑ	え
	を ^ゑ	ろ ^ゑ	よ ^ゑ

羅馬數字の圖

L	IX	V	I
C	X	VI	II
D	XI	VII	III
M	XII	VIII	IV

算用數字の圖

8	4	0
9	5	1
10	6	2
	7	3

加算九九の圖

一	二	三	四	五	六	七	八	九
二	三	四	五	六	七	八	九	十
三	四	五	六	七	八	九	十	十一
四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七

五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一
十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三

乘算九九の圖

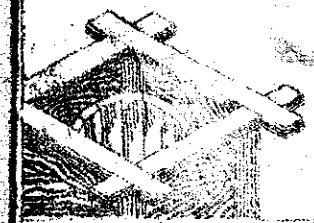
四	三	二	一
		四	二
	九	六	三
六	十二	八	四
廿	十五	十	五
廿四	十八	十二	六
廿八	廿一	十六	七
卅二	廿四	廿	八
卅六	廿七	廿六	九

九	八	七	六	五
				廿五
			廿四	卅五
		四十九	四十八	四十五
	六十四	六十三	六十	四十五
八十一	七十二	六十三	五十四	四十五

第一單語の圖

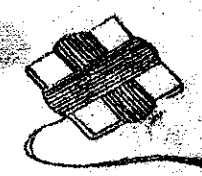
井

井



糸

糸



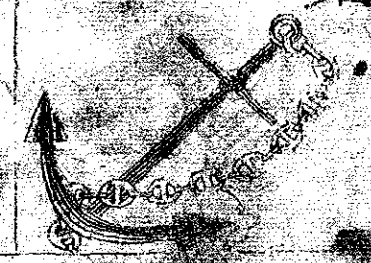
犬

犬



龍盤魚

錨



ヒ

貝



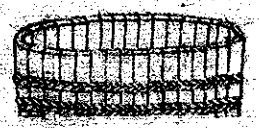
櫛

櫛



籠

燭臺



篩

并



工



紫螺

工



繪馬

笛



繪具



柳



槐

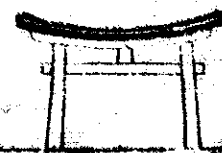


工



蝦

斗



鳥居

枝



慈姑



榎



紫陽花



第二單語の圖

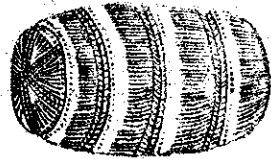
ハ

瓦



フ

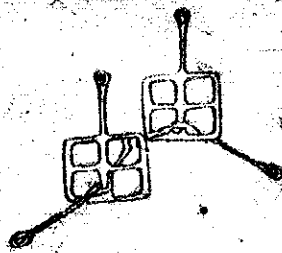
俵



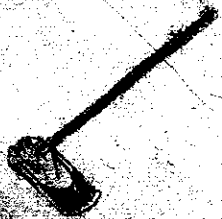
櫛



碁



鋏



鰯



工

靱繪

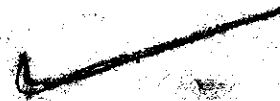


へ

鼎



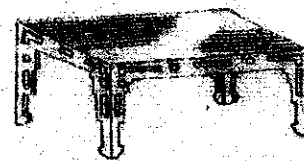
杖



家



机



苗



水

フ

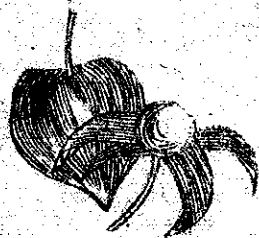
顔

竿



酸漿

魚



牽牛花

下緒

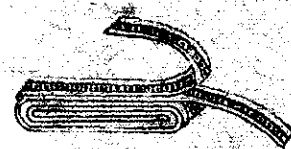


フ

才

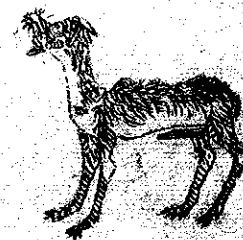
斧

帶



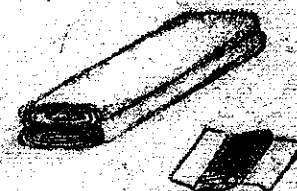
鴛鴦

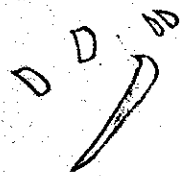
狼



折本

織物





鶉



雀



鯰



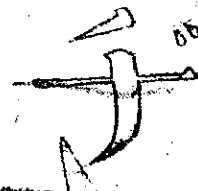
鼠



水吞



鈴



紅葉



雉子



鰻



虹



藤の花













富士の山



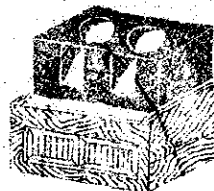
右二圖の單語も五十音を授けたるのうち、直に教ふるものにして、紛らわしき音を、明かに區別すべきものあり、故に、此二圖も、物名を覺ゆるよりも、尚字音の呼び方を覺ゆるを、肝心とす、第三圖より、第八圖までの、單語も、此と異なり、て、第一、日用尋常の物名を教ふるを、首旨となすものあり、故に、字音を分明とし、おれよりも、尚、廣く物名を知るを、肝心とす、

第三單語の圖

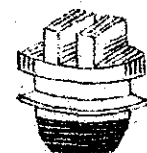
	
	
	
	
	

第四單語の圖

竈



釜



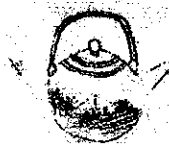
茶釜



鉄瓶



上瓶



鍋



樽



枡



火鉢



膳



茄子



大角豆



黃瓜



カボチ



水瓜



筍



蕈



大根



人参



蕪菜



蓮根



薑



芋



牛蒡

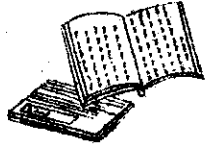


葱

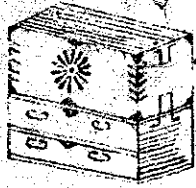


第五單語の圖

本



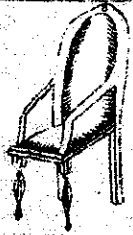
箆笥



筆



椅子



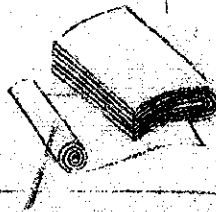
墨



鏡



紙



鋏



硯



琴



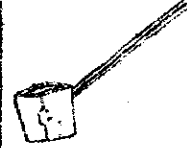
椀



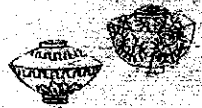
コップ



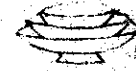
檜杓



茶碗



盃



手桶



皿



壺



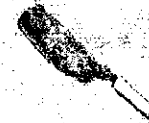
桶



鉢



庖刀



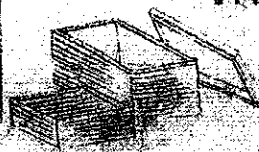
籃



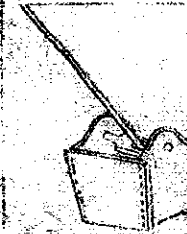
徳利



箱



釣瓶



第六單語の圖

着物



羽織



單衣



浴衣



袴



マントル



襦袢



伎具



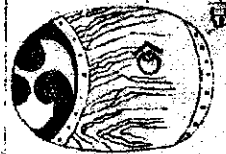
シトツブ



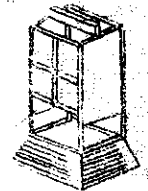
襪



大鼓



行燈



提灯



煙草盆



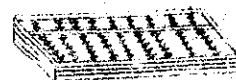
煙管



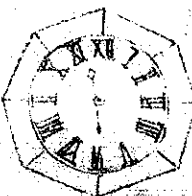
團扇



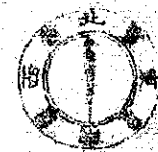
算盤



時計



磁石



寒暖計



傘



篋



下駄



雪踏



靴



第七單語の圖

蟬



蜻蜓



蜂



蝶



蜘蛛



蛇



百足



蛙



蟹



龜



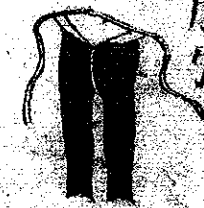
手拭



手袋



股引



足袋



足袋



顔



頭



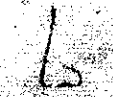
目



耳



鼻



口



手



手の指



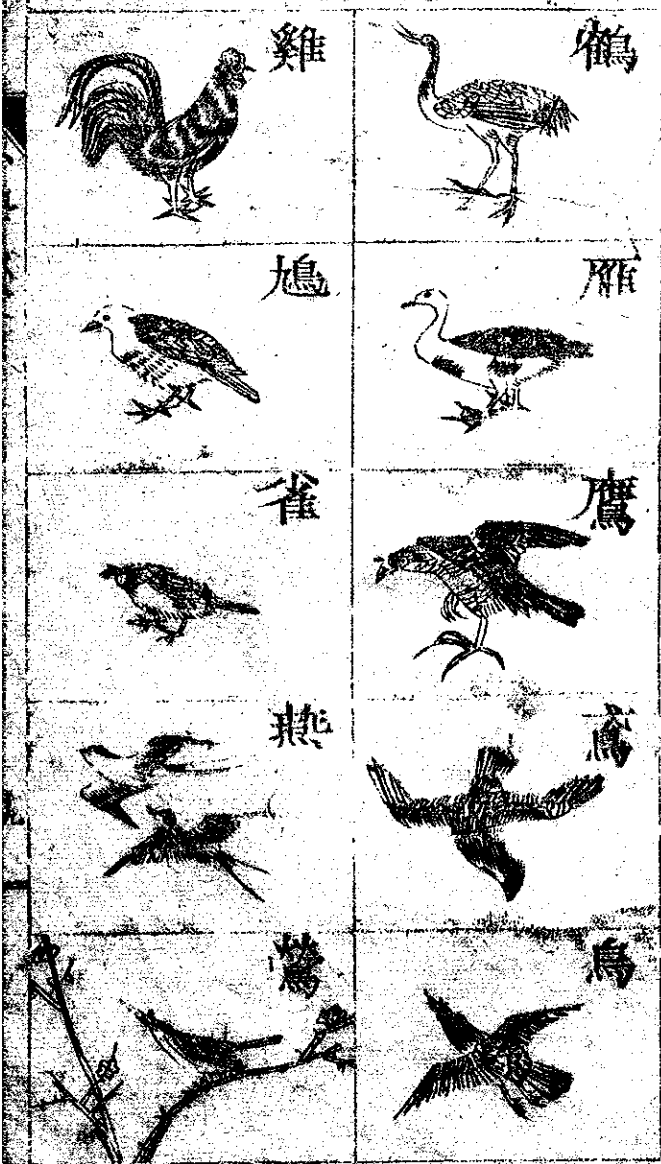
爪



足



第八單語の圖



 <p>鯰</p>	 <p>熊</p>	 <p>馬</p>
 <p>鯰</p>	 <p>鹿</p>	 <p>鹿</p>
 <p>鯰</p>	 <p>猪</p>	 <p>猫</p>
 <p>鯰</p>	 <p>狐</p>	 <p>猫</p>
 <p>鯰</p>	 <p>狸</p>	 <p>鬼</p>

第一連語の圖

父。母。叔父。叔母。私。男。女。あなた。

彼れ。彼人。此れ。其れ。此。其。誰。何。茲に。

何處に。其處に。どのやうな。かやうな。

彼人。何を致して。をります。彼れ。今やう。

な花を見てをります。彼れ、叔父も、叔母も、
一處に、見てをります。此れも、何の花で、
あります。か。此れも、梅の花で、あります。
叔父とも、父母の、兄弟をいひ、叔母とも、
父母の、姉妹をいふあり。

第二連語の圖

水。手習。算盤。學校。今日。昨日。
私も、水を、讀みて、志まひました。
これら、手習を、致し、まゐやう。
あなたも、水と、手習を、誰に、

習ひふさるか。私も、水を、父は、習ひ、
手習を、母に、習ひませう。あの人を、
いつから、学校へ、まゐりませう。彼
れも、昨日より、まゐりまして。今日も、
算盤を、習ひました。

第三連語の圖

どのような物が、食物、飲物、なりましたか。
穀物、野菜、菓物、魚肉、鳥肉、獸肉が、食
物に、なりました。水、乳汁、茶、いろいろの酒
が、飲物、なりました。食物のうち、何が、第一、

養ひに、ふりますう。鳥肉と、獸肉が第一、
養ひよ、なりました。穀物と、魚肉も、少く、養
ひよ、ふります。飲物のうちにて、何が第二、養
ひに、ふりますう。乳汁と、水が第一、養ひよ、
ふります。茶と、酒も、多分の、養ひをも、なりました。

第四連語の圖

春夏秋冬風雨。去年今年明年東西。
南北。今年の春も、去年より暖かに、あります。昨
秋も、強風が、降りました。月も、東より、出で、
西よ、入ります。夏も、南風が多くて、冬も、北風

が、多く、吹きまを

絹、水綿、麻、毛織物、着物、人々も、冬になると、暖

ふ、着物を、着て、夏、薄き、着物を、着まを、秋、も、

着る品も、何々、出来まを、水綿も、綿々、絹も、

繭々、造り、毛織物も、なにも、羊の毛を、用ゐまを、

第五 連語の圖

あなたも、病氣の、起らぬ爲に、

身のうちを、清くかゝるが、身のうちを、

毎日、清く洗ひ、肌着の類を、度々洗ひ

ます、又住居する、部屋へ、新しき、空

氣を、通え—まを。私を、養生の爲に、
菓物など、多く、食—ませぬ。又
二時の間、又三時の間、舊古
致—まをと。一時の間、遊歩致—
ます。

第六連語の圖

彼女了、針仕事を、能く致—まに。
彼れ、針仕事を、上手に致—まに。又
讀と書きも、下手で、ありませぬ。彼れを、
其れを、誰に、習ひま—たか。彼れを、針仕

事も、讀も書ぎも、彼等の世に習ひました。
此小兒を、算盤や、本を、覚えまゝと、此小兒
を、どちらにも能く覚えまゝと、いつうら、其をを
始めました。彼を先月より、本を、始めま
て、今月より、算盤を、始めました。

第七 連語の圖

老	幼	夫妻	親子	賢き	愚う	貴き	賤き
優れる	劣れる	彼れを	賤き	男を	ども	賢き	
智慧が	ありまほ	此子	を	劣れる	もので	あり	
ませぬ	親にも	優れる	少年	であり	まほ	幼に	て

讀み書きを精出して、學びまはと老いて、貴き人に
ふられまは。學文を、怠りまはと貴き人に、ふられま
せぬ。貴き人にて、學文を、致さぬを、賤き人に、
ふりまは。愚るふる人にて、學文を、致し
まはと、賢き人に、ふりまは。

第八連語の圖

天秤の目に、五つあり。十毛を、一厘といひ、

十厘を、一分といひ、十分を、一匁といひ、千匁を、

一貫目といふなり。

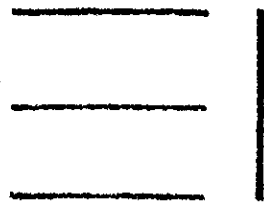
度の名に、六つあり。十毛を、一厘といひ、十厘を、

線及び度の圖

線折



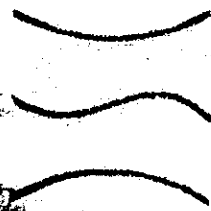
線直



線螺



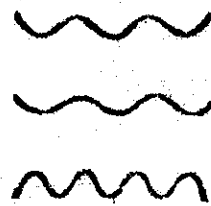
線曲



線渦

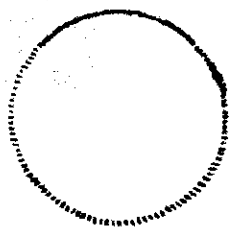


線波



一分といひ、十分を、一寸といひ、十寸を、一尺
 といひ、一丈を、一丈といふあり。
 柝の名に、六つあり。十才を、一才といひ、十才を、
 一合といひ、十合を、一升といひ、十升を、一斗と
 いひ、十斗を、一石といふあり。

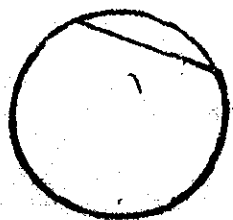
弧



角直



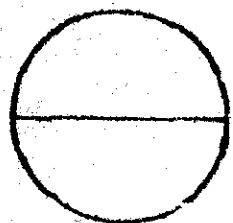
弦



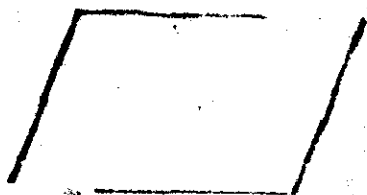
角銳



徑直



角鈍



線針



線縱



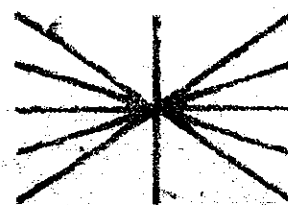
線行並



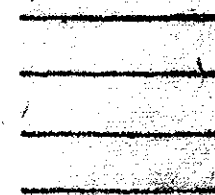
線斜



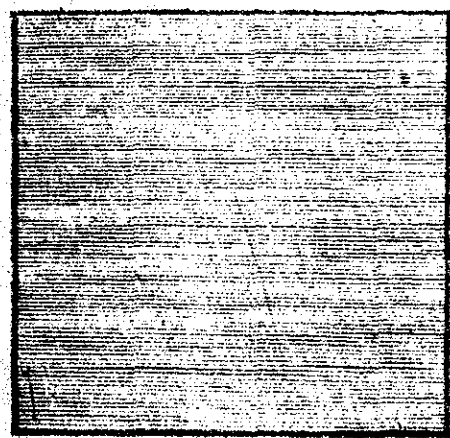
線合集



線平



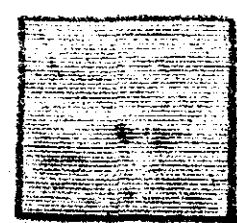
二寸平方



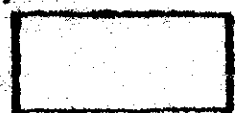
五分寸方



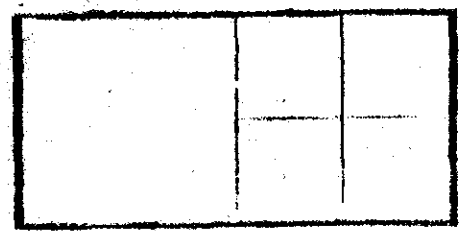
一寸平方



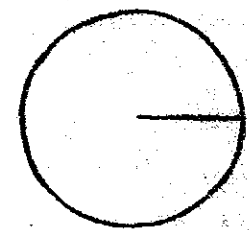
二分平方



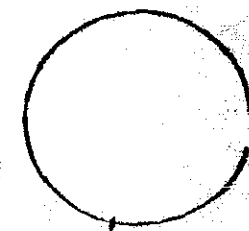
六分平方



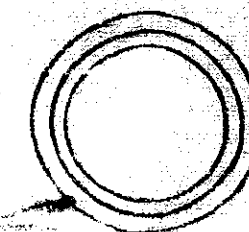
半徑



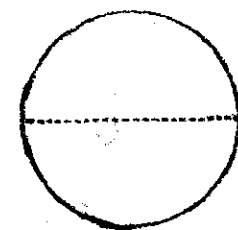
周邊



集合環



直徑二寸ノ環



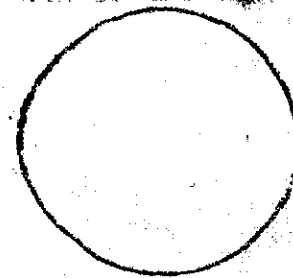
直徑七分寸ノ環



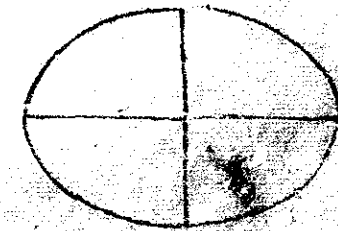
直徑五分寸ノ環



周邊四寸ノ環



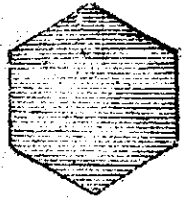
縱徑



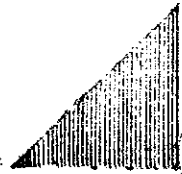
横徑

形及び體の圖

角六



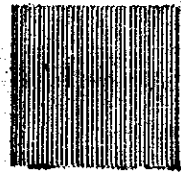
角三直



角七



形方



角八



角五



度尺ノ分五

度尺ノ分二

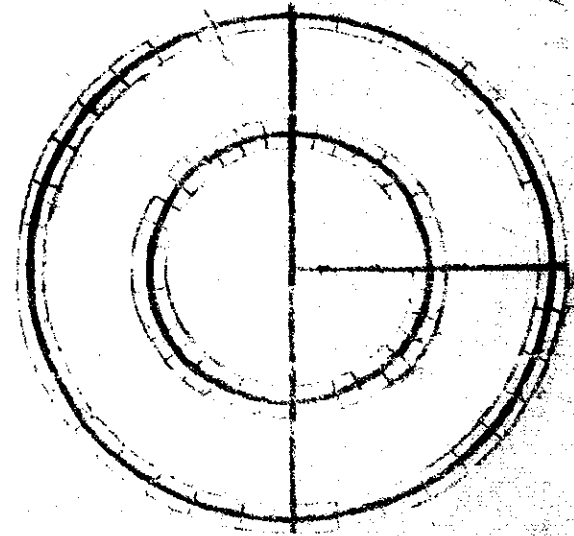
度尺ノ分一

度尺ノ寸二

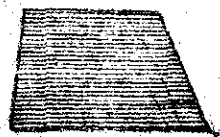
度尺ノ寸一

度尺ノ寸三

環ノ度



形方行並邊二



角三正



形卵



角弧邊一



圖橢



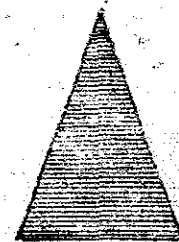
角三弧



不等三角



等脚三角



長方形



形方斜



角三



形方等不



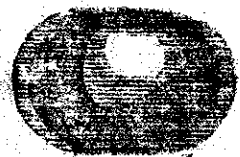
體半又半
圓球



體圓^x球



體圓橢



體半又半
圓球



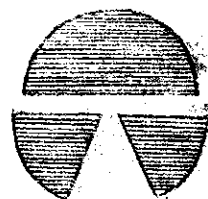
體面四



體半又半
圓球



圓半



ルトクセ

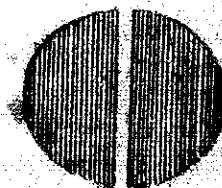
圓



形月新



圓半



環



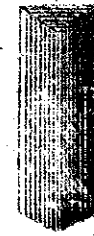
ト^xクセ



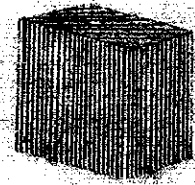
圓分四

小學教授書

三角柱



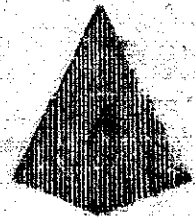
立方體



圓錐體



方錐體



圓柱



方柱



T/A
2
1604